

令和7年 年末訓示

今年も、働き方改革の一環として、年末の休みを早めに取得できるよう、少し早いですが、年末の訓示を行います。

改めて、職員の皆さん、この一年間大変ご苦勞様でございました。

今年は、村発足70周年の記念すべき年であったため、記念行事や関連行事が多く、大変ご苦勞様でした。担当者の皆さんは、住民への周知や参加協力に駆け回ってもらいましたが、その他の職員の皆さんにも、いろいろな形でご協力いただき、多くのイベントを立派に成功させることが出来たと思っています。改めて感謝申し上げます。

7月の記念式典や前日祭は、若い世代の方々が活躍し、村内外に対して大いにアピールできたのではないかと感じたところです。

8月の東海まつり花火大会は、会場を久慈川河川敷に移し、7000発の素晴らしい花火で来場者の皆さんを魅了することが出来ました。そして、10月のイベントにおいては、小雨の影響を受けたものの、コラボ企画などもあり、70周年の節目として大変盛り上がりました。関係者の皆様にも、重ねて感謝申し上げます。

また、今年は、7月に参議院議員通常選挙、9月に村長選挙と知事選挙が行われ、選挙業務も多かったと思います。選挙事務は間違いが許されない緊張感のある業務だと思いますが、多くの職員の皆さんに頑張ってください、適切に執行できたものと考えております。

私自身、村長選挙の候補者として臨み、4期目の負託を受けたことを大変重く受け止めておりまして、また、皆さんと一緒に仕事が出来て心強く感じているところです。引き続き、よろしく申し上げます。

さらに、「窓口・オフィス改革の推進」については、臨時オフィスへの引っ越しなどを行いながら、計画どおりに整備することが出来ました。整備後の2階の様子を見てみると、しっかりと運用できているのではないかと感じております。その後、税務課や子育て支援課の引っ越しもあり、現在は、4階の整備が終了し、新たな環境で業務を行っていただいておりますが、今後とも着実に計画を推進し、令和9年度の完成を目指して、引き続き頑張っていきたいと思います。

11月には、「わかものまちサミット2025」が開催され、全国各地から集まった参加者の皆さんと熱い議論を交わし、多くの気づきを得ることが出来

ました。本村の「こども・わかもの政策」はまだ始まったばかりですが、職員の皆さんにも自主的に参加していただき、若者が参加するまちづくりの重要性は理解できたのではないかと思います。これは、地域戦略課だけの仕事ではありませんので、今後とも、全庁で連携しながら取り組んでまいりましょう。

その他の役場の仕事について、いくつか取り上げてみたいと思います。国勢調査の実施、阿漕ヶ浦周辺地域整備基本計画の策定、シティプロモーションの推進、広報誌の改革、男女共同参画行動計画の改定、環境基本計画の改定、衛生センター改修問題への対応、個別避難計画の作成、休日診療体制の検討、舟石川保育所移転整備の推進、福祉部の業務見直し検討、産業振興ビジョンの推進、農業振興計画の改定、空き家問題への対応、雨水被害軽減対策の推進、中央地区の整備推進、教育プランの改定、こども・わかもの応援給付金の実施、部活動の地域移行推進、図書館40周年事業の実施など、いろいろな課題に取り組んでももらいました。このほかにも、各課で取り組んでもらった仕事は多数あります。一つひとつお話することはできませんが、全体としては、概ね順調に事業を推進できたのではないかと感じております。大変ご苦勞様でした。

最後に、原子力政策についても触れておきたいと思います。私が、9月の村長選挙において、「東海第二の再稼働は必要」と表明したことで、村政への影響も懸念しておりましたが、その後の状況を見ますと、村民の皆様は冷静に受け止めていただいているものと思っています。東海第二の再稼働問題は、様々なステークホルダーが存在しており、マスコミの注目も高いことから、皆さんも動向には注意を払っていただきたいと思います。なお、来年度には、原子力災害を想定した避難訓練も実施したいと考えておりますので、職員の皆さんには、計画内容を改めて理解するとともに、いざという時に、適切に行動が出来るように努めてください。

今年の年末年始の休みは9日間です。いつも言っているように、有給休暇も上手に使いながら、しっかりとリフレッシュしてください。特に、家族との時間を大切にしてください。

結びに、今年一年の皆さんの働きに改めて感謝申し上げますとともに、年明けには、皆さんが元気に顔を揃えていただけるよう祈念しております。

皆さん、良い年をお迎えください。